



まり子から

発行人 伊木まり子 〒630-0261 生駒市西旭ヶ丘1-2

Tel & Fax 0743-73-2828

Email: ikomanomirai@iris.eonet.ne.jp

http://www.eonet.ne.jp/~ikomanomirai

生駒市議会議員無会派伊木まり子ニュース 2015年12月

安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう

12月議会
7日開会

小紫市長、大幅な組織改編を提案！

7日から始まる12月定例会では市長からの報告案件（専決処分）2件と25の議案、議員提出の2議案を審議します。

市長提案の議案のうち、私が注目するのは議案第92号の市の行政組織の改編に関する条例案件と議案第110号の教育委員会委員6人の任命案件です。

山下前市長は議会の同意に難渋した末、教育部門に置かれていた幼稚園担当と福祉健康部に置かれていた保育園担当を統合し、こども健康部を創設しこども課を設置しました。今回、議案第92号に関連して、市は保育園、幼稚園を管轄する課として、教育部門の方にこども保育課を設置。これまでの教育総務部は教育振興部と名称を変更、その中にこども保育課と子育て支援総合センターを置きます。

その他、危機管理課は防災安全課と名前を改め、その中に消費生活センターが入り、環境経済部は地域活力創生部と名前を改め、同部には新たに生駒をPRする営業課を新設。市民活動推進課も同部へ。清掃リレーセンターを含む環境保全の課を市民部に移動。子どもに関する部門が教育振興部に移ったこども健康部は超高齢社会を見据えた地域包括ケアシステムの構築を視野に、福祉部と統合し福祉健康部と

します。高齢施策課は地域包括ケア推進課と名称を変更。更に企画政策部門は企画財政部から市長公室の方へ。この議案は15日の企画総務委員会で審査します。

6人の教育委員会委員については3日の全員協議会で議会に紹介。議会は7日、開会直後に任命について議決します。その他、指定管理者の指定案件が8件、来年4月にオープンする南こども園に関する条例も提案されます。

【 11/27 時点での日程案 】

12/7	10-	本会議・一般質問
12/8-10	10-	一般質問・本会議
12/14	10-	都市建設委員会・予算委員会
	13-	市民福祉委員会・予算委員会
12/15	10-	環境文教委員会・予算委員会
	13-	企画総務委員会・予算委員会
12/17	10-	予算委員会
12/22	10-	最終本会議

議案、正式な日程は市議会ホームページをご覧ください。全ての会議は原則公開です。本会議・委員会は市議会ホームページ会議中継からご覧いただけます。



生駒市立病院 特定健診、ダ・ヴィンチ手術スタート！

開院して半年、市立病院はたくさんの救急搬送患者を受け入れています。当直時間帯（平日夜間や土・日）では市内受け入れ患者数711人のうち、244人を市立病院で受け入れました（6～10月総数）。市外の病院への搬送も昨年同期401人から279人に減少しました。

11月25日に開催された病院事業推進委員会では熱傷、顔面外傷、口唇裂や口蓋裂、合指症、難治性下腿潰瘍や褥瘡などの形成外科的処置に対応できるようにしたいと、形成外科の設置が提案されました。

また、以前から問い合わせいただいていた特定健診は12月1日から市立病院で受けられるようになりました。インフルエンザの予防接種、ダ・ヴィンチ手術（ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術：対象は前立腺がん）も行っています。診療内容の充実が

図られています。がん検診や予防接種についても徐々に受けられるようになる見込みです。詳細は病院に確認してください（TEL 72-1111）。

みなさんの後押しで開設できた市立病院。将来にわたって生駒の地域医療を良好なものとするために、適切に利用し、声を届け、より良い病院になるように育てていきましょう。

来年2月には 第2回 市立病院管理運営協議会が開催される予定です。

みなさんからの意見も紹介され話し合われる予定です。会場は市立病院。会議は公開です。



10月8日、9月定例会が開会。定例会については11月15日発行の市議会のうごきで報告しています。閉会翌日から何人かの議員と駅頭でチラシを配り、PRを手伝ったいこま国際音楽祭も11月8日に閉幕。いよいよ、師走を迎えました。

幼稚園・保育園・こども園・保育ママ・自然保育・・

どのような整備が望ましいか？

私が委員長を務める市民福祉委員会では今年度、“本市における幼保連携の在り方について”をテーマに調査を行っています。公立の保育園・幼稚園の園長先生や保護者の皆さんからお話を伺ったり、習志野市や町田市を視察しました。個人的にも子育て中の方の意見を伺ったり、自然保育の取り組みを調べました。生駒では待機児童となり職場の保育所を利用中の1歳の孫娘、私が仕事で忙しい娘に代わって集団検診に連れて行ったりと、就学前の教育・保育に向き合っています。委員会では今年度中の取りまとめに向けて協議中です。

9月定例会

★ UR所有地鑑定予算に賛成

山下前市長による開発の中止決定後、手付かずとなっていて里山の荒廃、不法投棄などが心配されてきた学研高山地区第2工区。UR（独立行政法人都市再生機構）からの売却打診を受け、市はこの地域の将来を考えた計画検討に踏み出すためにURが所有する土地の鑑定評価費用を補正予算として提案しました。土地の購入も視野に入れ検討する場合には価格の把握が必要と考えます。市は来年3月までに結論を出す予定。市の方針が決まらない場合、URは民間への切り売りを検討しはじめると思われます。現在、市の内部で土地の活用について検討が行われています。

★ 意見の分かれた人事案件

市議会のうごきNo. 124の最後のページ、病院事業推進委員会（病推委）委員の委嘱・任命案件は谷口氏について賛否が分かれました。7議員が反対、私は賛成。

病推委では昨年度、医療連携専門部会を設置。谷

口氏は専門部会員として生駒市医師会会長、市立病院院長と共に医療連携の構築に向けて協議を重ねられました。医療連携は病院事業における最重要課題です。市はこれまでの議論を踏まえた連携の推進が必要として谷口氏再任を提案しました。これに対し「・・委員はその通算の在任期間が3期または10年を超えてはならない。ただし、専門的な知識、経験等を有する者で他に適当な人材が得られない場合はこの限りでない」とする市の指針に言及。谷口氏が4期目となることを問題としました。しかし、私は病推委のような事業推進のための委員会は、様々な市民の声を聴取するために設置する懇談会等の委員会とは異なり、これまでの議論や委員の熱意・経験などへの考慮も必要と考えます。委員会を傍聴し、たびたび谷口氏の熱意と見識の高さに驚かされてきた私は再任に賛成しました。

★ 決算審査 9/30, 10/1, 2, 5

市の広報11月15日号いこまちでも報告されていますが、平成26年度決算は実質収支は19億円を超える黒字でした。しかし、決算を細かく見ると、不用額や流用の点で改善が求められる点もありました。

私はこれまで毎年開催されていた人権の分野の審議会が26年度は一度も開催されなかったことを指摘。また、市の人権施策課は人権という視点から、ほとんどの課の施策を横断的に把握している貴重な課であることに今回始めて気付きました。縦割りや批判を受ける行政において、力を発揮すれば施策に大いに貢献する可能性を秘めています。また、市の人権施策の基本である“生駒市人権施策に関する基本計画”は2005年に作成され、すでに10年となります。いじめやヘイトスピーチなど人権を取り巻く社会情勢も著しく変化しています。このような時こそ審議会の意見を参考に、基本計画の見直しも含めた人権施策の検討を！と要望しました。

11/28・29（東京）

地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウム2015に参加

今回で7回目の開催となるシンポジウム、各地で地域の医療を守ろう、育てようと頑張っている住民、医療機関、行政、議員などが集まります。私は役員を務めるNPOを代表し、2013年に続いて参加しました。私は市立病院の開院を報告し、今年9月に市民提案から6年越しで開催実現にこぎつけた管理運営協議会を紹介しました。ワークショップ形式で様々な課題について解決のための知恵を出し合いました。今回は“地域医療づくり・地域包括ケアシステムづくりはまちづくり”という声が多く聞かれました。私も同感。各地で奮闘されている皆さんから、元気をもらって帰ってきました。

11/2-11/8 いこま国際音楽祭 的一幕



世界はともだち音楽塾（生駒南第二小）

編集後記：

市民の手作りで6回の開催が実現した“いこま国際音楽祭”。ファイナルコンサートでチュマチェンコさんが演奏・指揮されたヴィヴァルディの四季は圧巻でした。12月議会では音楽祭を通して生駒市が目指す市民協働の形を確認したいと考えています。 まり子